

建築・建設現場の助っ人「建助」が働き方改革を支援する



株式会社ファストコム

執行役員

建助事業部

部長

みうら たつり
三浦 龍徳

1. はじめに

ファストコムには大きく分けて二つの事業部があります。

動画制作や、日本の伝統工芸職人の後継者探しをサポートするサイト「ニッポン手仕事図鑑」の運営を行う部署と、本稿でご紹介する建助事業部です。建助事業部が提供する「建助」とは、読んで字のごとく、建築・建設現場の助っ人の「建」と「助」の文字を当てたサービス名です。

2. 建助とは

私たち「建助」は、建築建設業界のお困りごと解決のため、付带的業務のサポートを行っています。

具体的なサービスは、工事期間中の駐車場や、現場事務所の手配などです。これらは担当者が現場に行き、地域の不動産会社と交渉したり、契約を行ったりする必要があります。付带的業務の中でも、こうした割と工数が掛かるものをお引き受けしています（図-1）。

建築建設業界では、「働き方改革」の余波を受け、さまざまな問題提起が起っています。現場監督や作業員の方々は、本業の建築建設の作業に加

え、数多くの付带的業務を抱えています。現場作業の隙間時間で現場外の業務を行うことは、現場監督や作業員の方々の精神的負担がとて大きく、時間との闘いになります。そうした中で、付带的業務のできるアウトソーシング先を探しても思うように見つからず、結果として、時間に追われながら自ら行うしかないというのが現状です。

「建助」設立のきっかけは、建築建設業界の「困りごと」を偶然お聞きする機会があり、「私どもがお手伝いしましょう!」とお答えしたことから始まりました。そのきっかけこそが私どものモットーであり、一番大切にしてきたものです。

現在、「建助」の付带的業務数は50サービスを超えています。日本全国を見渡しても、ここまで付带的業務をお受けできる会社はないと自負しています（写真-1）。



図-1 建助サービス一覧



写真-1 建助スタッフ達は建助車両で全国の建築建設現場の下支えをしています

3. クライアントインタビュー

「その作業，社内でやっているからタダなんですよね。」

実は，たまにこんなお声をいただくことがありますが，「ちょっと待ってください！」そこには人件費や販管費など，目に見えない費用が発生しているのです。実際に自社の人件費，販管費を計算すると，「この業務にこんなに費用が掛かっていたのか！」と驚かれ，アウトソーシングにご納得いただけるケースが多々存在します。

社内で付带的業務が増大して社内コストが上がり，時間売上貢献ができづらくなる現象が現場では起きているのですが，その現状を経営層が知る機会が極端に少ないように感じます。

私どものクライアントさまからは，

- ・アウトソーシングによる働き方改革に大きく貢献していただき，業務の効率化には欠かせない存在です
- ・後継者がいない職人が若手を育てることに時間を使えるように，さまざまなサービス展開を期待しています

などと，恐縮ですが，称賛の言葉をいただくことが多くあります。

クライアントさまによって，工事内容・工期は

変わるので，抱えている業務内容も異なります。そのため，私ども「建助」では，まずはしっかりヒアリングさせていただき，今の悩みを一緒に解決していくパートナーとして，クライアントさまに寄り添ったサービスを心掛けています。

4. おわりに

DXという言葉が，建築建設業界でも頻繁に飛び交うようになってきました。私どもへの相談件数も日に日に増してきています。

建助のサービスを使うことによって，働き方改革をしていただく。これは，DX的な考え方だと自負しています。DXが進んでいくと，建築建設業界では，人が「価値」として残す部分が必ず出てきます。DXする部分とDXするために人が動く部分，人が残す価値のすみ分けをすることが，DXには欠かせないと私どもは常日頃から発信しています。

建助では，業界全体が革新的な改革を行えるように常にアンテナを張り，皆さまがやりたいと思ったことに対して助言やサポートをするサービスであり続けるために，今は皆さまからの信頼を積み重ねている段階です。

建築建設業界が魅力的で誰からも愛される職業になるよう，働き方の見直しを現場目線でこれからも支え続ける黒子でありたいと願っています(写真-2)。



写真-2 執行役員であり，建助事業部の総指揮をとる筆者